

今月号の紙面

- ・東京都からのお知らせ(産交展、他)… 2面
- ・としま MONO づくりメッセ
- ・都産技研 TIRI クロスミーティング
- ・地域団体人事告知… 3面
- ・工団連人事、事業、研修告知
- ・新型コロナウイルス対策区市支援助策一覧
- ・赤い羽根協同募金のお知らせ… 4面
- ・企業リレー探訪(文京区商工協会)
- ・東京ビッグサイトからお知らせ

# 工団連

発行所  
 一般社団法人 東京工業団体連合会  
 東京都中央区銀座2-10-18  
 東京都中小企業会館5階  
 電話 (03) 3546-2525  
 F A X (03) 3546-2853  
 (購読料1部100円、年間600円 会費より徴収)  
<https://www.tokyo-koudanren.or.jp>

## 団体・会員企業の更なる活性化を!

# 工団連「助成事業」の積極的活用で

工団連は平成25年度(専門派遣事業は平成24年度)より東京都・都議会関係機関などの支援のもと「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の3事業を推進してきた。令和3年度上半期終了も直前に控えた現在、コロナ禍の困難な状況下で活動を続ける会員団体・企業の皆様に、改めて事業を紹介し今後の積極的な活用をお願いする。

### 「ものづくり基盤技術強化支援事業」

強化支援事業」は地域の工業・産業団体の活動を支援するもの。団体自身が会員企業を対象とした事業を企画・実施するに際し利用するものです。

平成25年度より本格スタートした本事業は、この間、現場の実態に即して見直され年々利用し易い制度となっている。

また、活用団体・事業の事例も蓄積していったが令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減少に転じた。更に令和3年度も同様な状況が継続しているが、地域会員団体や会員企業のより一層の活用を期待したい。

### もものづくり基盤技術強化支援事業

東京都内で活動するものづくり中小企業を取巻く環境は昨年来継続している新型コロナウイルス感染症拡大が追い打ちをかけて先行き不透明な状況となっている。

本事業は工団連に加盟する地域の工業・産業団体等や会員企業が、ものづくり現場を取巻く厳しい経営環境に対応するために必要な基盤技術を強化する取組みに対し、東京都からの支援を受け工団連が費用の2/3を補助するもの。本年度はこれまで以上に3密回避を意識した実施が必須となる。

◆「事例1」展示会の開催  
 や見本市や自主企画など、自治体や企業・団体の展示や見本市に出展する会員企業の優れもの製品や技術のPR、販路開拓を支援する活動にも活用されている。



ヴァーチャル産業交流展 2020 仮想ブース

◆「事例2」先端・先進工場、施設の視察研修  
 ものづくりの先進工場や先端技術の視察を通して、会員企業の意識改革や人材育成、また最新技術の習得による技術向上に繋げる活動への支援。近年は団体に所属する優良会員企業を視察するケースが多い。



ものづくり現場風景

◆「事例3」ものづくりをテーマにした研修会や講演会の開催  
 により、会員企業の経営者・従業員への知識習得、意識の向上を支援する。コロナ禍においては、オンライン開催やハイブリッド開催(展示会とオンライン同時開催)も対象となる。

### 《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術サービスマン伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

### 《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等(外部委託費)が助成対象となる。  
 ＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で実施した事業は対面のみでの実施は困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

### 《その他事例》

◆また、現状においてはホームページを活用した情報発信は有効な手段となり、「ホームページの新規制作」による団体の情報発信力強化を目的とした事業も推奨したい。

### 《助成対象経費》

・ホームページ制作に係る外部委託費(リニューアルは助成対象外)  
 【補助内容】  
 ・事業1件当たり360万円を限度として2/3の補助率で助成  
 ＊残り1/3の経費については、区市等自治体の助成が得られる場合の併用が可能。  
 【利用の流れ】  
 利用したいテーマが発生したら工団連にお問合せください。  
 ①申込  
 ②申請書提出  
 ③審査後に交付決定  
 ④事業の実施  
 ⑤完了報告  
 ・経費の支払等事業終了後に報告書提出  
 ⑥審査後に交付金額の確定。助成金支払。  
 事例以外の場合でも助成対象となる場合があるため、利用に際しては工団連事務局までお気軽にお問合せください。

### 《費用》

専門家の報酬、派遣先までの交通費は工団連が負担します。ただし原則として専門家の派遣先は都内とします。都外の拠点への派遣に際しての交通費は、専門家と個別にご相談ください。

### 「依頼試験等助成事業」

は地域団体の会員企業が直接利用する助成事業で、2事業とも多くの会員企業に活用されている。

◆「事例1」展示会の開催  
 や見本市や自主企画など、自治体や企業・団体の展示や見本市に出展する会員企業の優れもの製品や技術のPR、販路開拓を支援する活動にも活用されている。

◆「事例2」先端・先進工場、施設の視察研修  
 ものづくりの先進工場や先端技術の視察を通して、会員企業の意識改革や人材育成、また最新技術の習得による技術向上に繋げる活動への支援。近年は団体に所属する優良会員企業を視察するケースが多い。

### 《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術サービスマン伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

### 《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等(外部委託費)が助成対象となる。  
 ＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で実施した事業は対面のみでの実施は困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

### 《その他事例》

◆また、現状においてはホームページを活用した情報発信は有効な手段となり、「ホームページの新規制作」による団体の情報発信力強化を目的とした事業も推奨したい。

### 《助成対象経費》

・ホームページ制作に係る外部委託費(リニューアルは助成対象外)  
 【補助内容】  
 ・事業1件当たり360万円を限度として2/3の補助率で助成  
 ＊残り1/3の経費については、区市等自治体の助成が得られる場合の併用が可能。  
 【利用の流れ】  
 利用したいテーマが発生したら工団連にお問合せください。  
 ①申込  
 ②申請書提出  
 ③審査後に交付決定  
 ④事業の実施  
 ⑤完了報告  
 ・経費の支払等事業終了後に報告書提出  
 ⑥審査後に交付金額の確定。助成金支払。  
 事例以外の場合でも助成対象となる場合があるため、利用に際しては工団連事務局までお気軽にお問合せください。

### 《費用》

専門家の報酬、派遣先までの交通費は工団連が負担します。ただし原則として専門家の派遣先は都内とします。都外の拠点への派遣に際しての交通費は、専門家と個別にご相談ください。

## 専門家派遣事業

経営技術の課題を解決! 専門家を無料で派遣! 専門家派遣事業は、平成24年度に開始してから10年目を迎えるが、コロナ禍においても活用いただいている。

利用企業からは、専門家からのアドバイスが「すぐに役に立った」「もつと派遣回数を増やしてほしい」などの声を多数いただいている。

◆「事例1」展示会の開催  
 や見本市や自主企画など、自治体や企業・団体の展示や見本市に出展する会員企業の優れもの製品や技術のPR、販路開拓を支援する活動にも活用されている。

### 《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術サービスマン伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

### 《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等(外部委託費)が助成対象となる。  
 ＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で実施した事業は対面のみでの実施は困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

## 依頼試験等助成事業

工団連では、製造事業者等が技術開発及び製品開発や技術革新の際に必要な依頼試験、技術支援や開発支援等を受け、経費の一部を助成しています。

◆「事例1」展示会の開催  
 や見本市や自主企画など、自治体や企業・団体の展示や見本市に出展する会員企業の優れもの製品や技術のPR、販路開拓を支援する活動にも活用されている。

◆「事例2」先端・先進工場、施設の視察研修  
 ものづくりの先進工場や先端技術の視察を通して、会員企業の意識改革や人材育成、また最新技術の習得による技術向上に繋げる活動への支援。近年は団体に所属する優良会員企業を視察するケースが多い。

### 《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術サービスマン伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

### 《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等(外部委託費)が助成対象となる。  
 ＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で実施した事業は対面のみでの実施は困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

◆「事例3」ものづくりをテーマにした研修会や講演会の開催により、会員企業の経営者・従業員への知識習得、意識の向上を支援する。コロナ禍においては、オンライン開催やハイブリッド開催(展示会とオンライン同時開催)も対象となる。

### 《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術サービスマン伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

### 《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等(外部委託費)が助成対象となる。  
 ＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で実施した事業は対面のみでの実施は困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

### 《その他事例》

◆また、現状においてはホームページを活用した情報発信は有効な手段となり、「ホームページの新規制作」による団体の情報発信力強化を目的とした事業も推奨したい。

### 《助成対象経費》

・ホームページ制作に係る外部委託費(リニューアルは助成対象外)  
 【補助内容】  
 ・事業1件当たり360万円を限度として2/3の補助率で助成  
 ＊残り1/3の経費については、区市等自治体の助成が得られる場合の併用が可能。  
 【利用の流れ】  
 利用したいテーマが発生したら工団連にお問合せください。  
 ①申込  
 ②申請書提出  
 ③審査後に交付決定  
 ④事業の実施  
 ⑤完了報告  
 ・経費の支払等事業終了後に報告書提出  
 ⑥審査後に交付金額の確定。助成金支払。  
 事例以外の場合でも助成対象となる場合があるため、利用に際しては工団連事務局までお気軽にお問合せください。

◆「事例3」ものづくりをテーマにした研修会や講演会の開催により、会員企業の経営者・従業員への知識習得、意識の向上を支援する。コロナ禍においては、オンライン開催やハイブリッド開催(展示会とオンライン同時開催)も対象となる。

### 《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術サービスマン伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

### 《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等(外部委託費)が助成対象となる。  
 ＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で実施した事業は対面のみでの実施は困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

### 《その他事例》

◆また、現状においてはホームページを活用した情報発信は有効な手段となり、「ホームページの新規制作」による団体の情報発信力強化を目的とした事業も推奨したい。

### 《助成対象経費》

・ホームページ制作に係る外部委託費(リニューアルは助成対象外)  
 【補助内容】  
 ・事業1件当たり360万円を限度として2/3の補助率で助成  
 ＊残り1/3の経費については、区市等自治体の助成が得られる場合の併用が可能。  
 【利用の流れ】  
 利用したいテーマが発生したら工団連にお問合せください。  
 ①申込  
 ②申請書提出  
 ③審査後に交付決定  
 ④事業の実施  
 ⑤完了報告  
 ・経費の支払等事業終了後に報告書提出  
 ⑥審査後に交付金額の確定。助成金支払。  
 事例以外の場合でも助成対象となる場合があるため、利用に際しては工団連事務局までお気軽にお問合せください。

◆「事例3」ものづくりをテーマにした研修会や講演会の開催により、会員企業の経営者・従業員への知識習得、意識の向上を支援する。コロナ禍においては、オンライン開催やハイブリッド開催(展示会とオンライン同時開催)も対象となる。

### 《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術サービスマン伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

### 《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等(外部委託費)が助成対象となる。  
 ＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で実施した事業は対面のみでの実施は困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

### 《その他事例》

◆また、現状においてはホームページを活用した情報発信は有効な手段となり、「ホームページの新規制作」による団体の情報発信力強化を目的とした事業も推奨したい。

### 《助成対象経費》

・ホームページ制作に係る外部委託費(リニューアルは助成対象外)  
 【補助内容】  
 ・事業1件当たり360万円を限度として2/3の補助率で助成  
 ＊残り1/3の経費については、区市等自治体の助成が得られる場合の併用が可能。  
 【利用の流れ】  
 利用したいテーマが発生したら工団連にお問合せください。  
 ①申込  
 ②申請書提出  
 ③審査後に交付決定  
 ④事業の実施  
 ⑤完了報告  
 ・経費の支払等事業終了後に報告書提出  
 ⑥審査後に交付金額の確定。助成金支払。  
 事例以外の場合でも助成対象となる場合があるため、利用に際しては工団連事務局までお気軽にお問合せください。

◆「事例3」ものづくりをテーマにした研修会や講演会の開催により、会員企業の経営者・従業員への知識習得、意識の向上を支援する。コロナ禍においては、オンライン開催やハイブリッド開催(展示会とオンライン同時開催)も対象となる。

### 《活動例》

・「ものづくりをテーマにした注目企業経営者講演会」「ものづくり技術サービスマン伝承講座」「次世代技術セミナー」「専門技術研修」や注目・話題のテーマ、講師による「産業振興セミナー」等の開催。

### 《助成対象経費》

・講師謝金、会場・施設借上げ費用、資料作成・印刷等(外部委託費)が助成対象となる。  
 ＊なお、コロナ禍の現状においては事例1～3で実施した事業は対面のみでの実施は困難が予想されることから非対面での検討・工夫が必要。

### 《その他事例》

◆また、現状においてはホームページを活用した情報発信は有効な手段となり、「ホームページの新規制作」による団体の情報発信力強化を目的とした事業も推奨したい。

### 《助成対象経費》

・ホームページ制作に係る外部委託費(リニューアルは助成対象外)  
 【補助内容】  
 ・事業1件当たり360万円を限度として2/3の補助率で助成  
 ＊残り1/3の経費については、区市等自治体の助成が得られる場合の併用が可能。  
 【利用の流れ】  
 利用したいテーマが発生したら工団連にお問合せください。  
 ①申込  
 ②申請書提出  
 ③審査後に交付決定  
 ④事業の実施  
 ⑤完了報告  
 ・経費の支払等事業終了後に報告書提出  
 ⑥審査後に交付金額の確定。助成金支払。  
 事例以外の場合でも助成対象となる場合があるため、利用に際しては工団連事務局までお気軽にお問合せください。



# 東京都からのお知らせ

## 産業交流展2021を開催します！

### 【開催趣旨】

今年で二十四回目を迎える産業交流展は、首都圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）に事業所を有する個性豊かな中小企業の優れた技術や製品を一堂に展示する、国内最大級の見本市です。

今回は新たな取組として、従来のリアル展示会に加え、ウェブサイトのオンライン展示会を開催し、「リアルとオンラインの融合」による新たなビジネスマッチング等の機会を提供します。

### ◎リアル展：

11月24日（水）・25日（木）・26日（金）開催  
10時～18時（最終日17時終）

### ◎オンライン展：

11月17日（水）から12月10日（金）まで開催  
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、オンライン展のみの開催となる場合があります。

◎会場：東京ビッグサイト南展示棟（江東区有明）  
◎入場：無料（要登録）

### ◎出展分野：

①情報②環境③医療・福祉④機械・金属  
◎メインステージ：  
基調講演・特別講演など各種ビジネスセミナーを開催

### ◎特別企画：

脱炭素ゾーン、感染症対策ゾーン、東京都食品産業フェア、東京ビジネスフロンティア、次世代ロボットゾーン、首都圏テクノネットワーキング、国際ゾーン、特別商談会、ほか

### ◎同時開催イベント：

世界発信コンペティション表彰式、東京都経営革新優秀表彰式、東京カイシャハッケンツアー

◎主催：産業交流展2021実行委員会（東京都）

都 東京商工会議所、東京都商工会議所連合会、東京都商工会連合会、東京都中小企業団体中央会、(株)東京ビッグサイト、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター

◎後援：(一社)東京工業団体連合会、(独)中小企業基盤整備機構、東京信用保証協会、東京中小企業投資育成(株)、連携県市：埼玉県、千葉県、神奈川県、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市

◎お問い合わせ：産業交流展2021運営事務局（電話03-6881-6218）

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に今一度行動への理解と徹底を！

新型コロナウイルス感染症は、デルタ型（インドラ型）の急速な拡大が進行し第5波へ突入。足元ではこれまでに経験したことのない爆発的な感染拡大が進行している。

これまでも各企業・個人において様々な感染防止の対策が取られているが、究極は「一人との接触を低減する取組」といえる。本稿では改めて「取組の5つのポイント」を掲載し経営者・労働者の皆様にお目通し願いたい。

### 職場における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

職場における新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施するために、先ず「職場における新型コロナウイルス感染拡大防止対策」を徹底する必要がある。以下に「取組の5つのポイント」を掲載する。

次に示す「取組の5つのポイント」が実施できているか確認しましょう。

①「テレワーク・時差出勤」等を推進している。  
②「体調のすぐれない人が気兼ねなく休めるルール」を定め、実行できる。  
③「取組の5つのポイント」を定め、実行できる。  
④「取組の5つのポイント」を定め、実行できる。

⑤「取組の5つのポイント」を定め、実行できる。

⑥「取組の5つのポイント」を定め、実行できる。

⑦「取組の5つのポイント」を定め、実行できる。

⑧「取組の5つのポイント」を定め、実行できる。

## 第15回としまMONOづくりメッセ 出展募集

としまMONOづくりメッセは、区内を中心とした企業・団体の高い技術や優れた商品やサービスを広く発信することも、企業間の情報交換を通じて販路拡大を促す産業見本市です。

ビジネス向け企画も多数用意しておりますので、ぜひご利用ください。※今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催に関する内容が大幅に変更になる場合がございます。

【開催趣旨】  
今年で二十四回目を迎える産業交流展は、首都圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）に事業所を有する個性豊かな中小企業の優れた技術や製品を一堂に展示する、国内最大級の見本市です。

【会場】サンシャインシティ展示ホールB（文化会館4F）

【出展募集】  
10月31日（日）まで

【出展分野】製造、食、雑貨、情報・サービス、

環境・エネルギー、医療・健康・福祉など

【出展料】  
①標準小間（間口約3m×奥行約2m×高さ2.4m）

②ミニ小間（間口約1m×奥行約1m×高さ2.4m）

③3,000円

※他に、「起業家チャレンジブース」を設置します。条件や申し込み方法が異なります。

【お問い合わせ】  
としまメッセ事務局  
〒160-8501 東京都豊島区池袋3-1-4  
TEL:03-6440-3111  
E-mail: toshima-messe.jp

【お問い合わせ先】  
としまメッセ事務局  
〒160-8501 東京都豊島区池袋3-1-4  
TEL:03-6440-3111  
E-mail: toshima-messe.jp

【お問い合わせ先】  
としまメッセ事務局  
〒160-8501 東京都豊島区池袋3-1-4  
TEL:03-6440-3111  
E-mail: toshima-messe.jp

【お問い合わせ先】  
としまメッセ事務局  
〒160-8501 東京都豊島区池袋3-1-4  
TEL:03-6440-3111  
E-mail: toshima-messe.jp

対策の基本事項です。未実施の事項がある場合は職場での対応を検討の上、確実に実施してください。

また併せて、感染リスクを回避する行動への理解もお願い致します。

「感染リスクが高まる5つの場面」

場面①：飲食を伴う懇親会等  
場面②：大人数（5人以上）や長時間におよぶ飲食  
場面③：マスクなしでの会話  
場面④：狭い空間での共同生活  
場面⑤：居場所の切り替わり

集団感染の共通点は、特に「換気が悪く」「人が密に集まっている」「不特定多数の人が接触する恐れが高い場所」です。

感染防止対策の徹底にご協力ください。

## 都産技研を「知る」そして「つなげる」無料オンラインイベント

「TIRIクロスミーティング2021」開催！

「TIRIクロスミーティング」は、東京都立産業技術研究センター（都産技研）が実施した研究開発や連携機関などが保有する技術シーズを発表し、中小企業との技術マッチングイベントです。今年、完全オンライン開催として、技術開発や製品開発のヒントとなる幅広い技術分野の口頭発表を1か月間オンデマンド配信します。

また、特別プログラムとして、最新の技術動向や、市場ニーズなどを解説する基調講演4つを週替わりで行います。詳細は、TIRIクロスミーティング2021特設サイトをご覧ください。

【開催概要】  
開催日時：2021年9月15日（水）～10月15日（金）  
オンライン開催・オンデマンド配信  
参加費：無料（登録制）  
参加方法：TIRIクロスミーティング2021特設サイトからお申込みください。

【発表内容】  
6つの技術分野にて66の最新技術シーズのプレゼン（を）用意しています。  
物理応用技術（電気・機械・光音）、マテリアル応用技術（材料・プロセス・バイオ）、情報システム

「ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物処理」

東京都助成事業のご案内

高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物（以下「高濃度PCB廃棄物」という。）については、定められた期限までに処理を完了する必要があります。

こうした中、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」を所管する首都圏1都3県12市で構成する東京PCB廃棄物処理事業に係る首都圏広域協議会では、本年9月を「PCB適正処理推進月間」と定め、高濃度PCB廃棄物等の適正処理について協働と連携して啓発活動を行うこととしており、東京都においても適正処理に向けた取組を行います。

高濃度PCB排気所等のうち「変更器・コンデン」

に処分する必要があるが、確認や処分作業には手間と時間がかかります。早めの対応をお願いします。

お気軽にご相談ください。東京都環境局PCB処理対策担当 03-5388-

8-35673

○中間貯蔵・環境安全事業（株）「JASCO」

03-5765-1927

事業の概要はこちらからパンフレットについて、  
http://www.jesconet.co.jp/customer/pdf/chushopamph-r2.pdf

工場、倉庫、屋外などに、処理されずにPCB廃棄物やPCB使用製品が残されている可能性が有ります。

法律で定められた期間内に処分する必要がありますが、確認や処分作業には手間と時間がかかります。早めの対応をお願いします。

http://www.env.go.jp/recycle/poly/pcb-pamph/R3\_04.pdf

東京都による「PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物」のリーフレット

中小企業者等軽減制度のパンフレット

http://www.env.go.jp/recycle/poly/pcb-pamph/R3\_04.pdf

東京都による「PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物 助成事業」のリーフレット

中小企業者等軽減制度のパンフレット

http://www.env.go.jp/recycle/poly/pcb-pamph/

株式会社プライムエム

代表取締役社長 増倉 孝一氏

基調講演④10月8日（金）

10月15日（金）

「食品産業における技術開発と製品価値の向上について」

早稲田大学大学院 経営管理研究科 教授 長内 厚氏

お問い合わせ先：  
TIRIクロスミーティング2021事務局 株式会社ウェンス内  
TEL 03-6440-3111  
E-mail: info@cm2021.iri-tokyo.jp

お問い合わせ先：  
としまメッセ事務局  
〒160-8501 東京都豊島区池袋3-1-4  
TEL:03-6440-3111  
E-mail: toshima-messe.jp

都産技研を「知る」そして「つなげる」オンラインイベント  
**TIRIクロスミーティング2021**  
6分野・66技術シーズが1ヶ月間無料で見放題！オンラインで参加費0円！  
9/15(水)～10/15(金)

（5G・IoT・ロボット）、技術開発支援（実証試験・計測分析・製品応用）、地域技術支援（食品・精密分析・デザイン支援・人間生活工学）、多摩テックプラザ（電子・複合）

◆基調講演  
基調講演①9月15日（水）9月24日（金）  
「中小企業がSDGsに取組むメリット」  
進藤 勇治 氏  
基調講演②9月24日（金）10月1日（金）  
「中小製造業の未来」  
小売業との新たな連携に活路」  
亜細亜大学 都市創造学部 教授 後藤 康浩 氏  
基調講演③10月1日（金）10月8日（金）  
「中小企業はAI・IoTでどう向き合えばいいのか」

◆問い合わせ先：  
TIRIクロスミーティング2021事務局 株式会社ウェンス内  
TEL 03-6440-3111  
E-mail: info@cm2021.iri-tokyo.jp

お問い合わせ先：  
としまメッセ事務局  
〒160-8501 東京都豊島区池袋3-1-4  
TEL:03-6440-3111  
E-mail: toshima-messe.jp



地域団体新会長就任のお知らせ

(一社) 東京都江東産業

連盟

代表取締役会長 大雄開発(株) (6月24日付)

新任の松岡会長には、工団連活動へのご支援ご協力をお願い致します。また前任の大橋様には在任中の永きに渡るご協力への感謝と、今後のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。に、変わらぬご支援をお願い致します。

工団連事務局新体制のお知らせ

令和3年7月15日付で工団連事務局が新体制でスタートしました。本紙では新専務理事からの挨拶と事務局の紹介を掲載します。



専務理事 大畑章

令和3年7月15日付で工団連専務理事に就任した大畑章でございます。会員の皆様と共に工団連の更なる発展に向け誠心誠意努力して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。また、佐藤前専務理事他先輩方の構築された事業の継承や関連団体との良好な協力関係の維持発展に努めるなど、会員の皆様の事業活動の一助となりまますよう事務局一丸となって取り組む所存であります。引き続きのご理解とご協力をお願い致します。

重要性和定着のポイント理解を図ります。日時:10月13日(水) 9:30~17:00 \*本年度は1日での開催となります。◆受講対象者... 会員企業に勤務する若手・中堅社員 ◆方法:経緯豊富な研修専門機関の講師によりWEBセミナーで配信(Zoomによる配信)とし、受講者は職場・自宅等参加可能な場所よりPC・スマホ等にて参加できます。 ◆参加費用:5千円(1名 資料代として) ◆申込:案内チラシに記入の上工団連事務局宛にお申込みください。皆様の参加を待ち申し上げます!

事務局長 大畑章 (全体統括) 事務局長次長 湯山京二 (経理・総務) 事務局長 篠崎公貴 (経理・労働・共済) 事務局長 工藤洋子 (経理・労働・共済) 助成事業等 (保険等)

工団連からののお知らせ

「令和3年度工団連会長表彰」候補者募集のお知らせ

本年度も左記の候補者募集を行います。募集手続きの詳細、日程等は別途地域団体事務局よりご案内します。

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

予算等要望活動は、工団連事業に必要な予算獲得のための重要な活動であり、例年は7月より要望書の作成、8月~11月にかけて都知事・都議会・国等への要望活動を実施して来た。本年度はオリ

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

染拡大の動向を注視し日程等検討しますのでご了承ください。

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

「令和4年度国・東京都予算等に関する要望」活動の実施について

新型コロナウイルス感染症への区市(工団連地域団体所在)独自の事業者向け支援策一覧

工団連会員地域団体の所在区市が独自に実施する、事業者向け主な支援策を一覧に取りまとめたのでご活用ください。

(令和3年8月20日現在)

Table with columns: 区市, 事業名, 資金使途, 限度額, 貸付期間, 利率, 信用保証料, 申請期間, 申込方法, 問い合わせ先. It lists various support programs for businesses across different districts like Tokyo, Kanagawa, and Chiba.

(注) 1) 支援内容が変更されている場合もありますので、詳細は各区市等の問合せ先にご確認ください。 2) 東京都の「新型コロナウイルス感染症関連支援策」は、https://covid19.supportnavi.metro.tokyo.lg.jp/navi/ (「自分に合った制度を探す」及び「区市町村の関連情報を見る」を参照)



江戸製版印刷株式会社  
代表取締役社長 高山 昭和

# 企業リレー探訪

17



高山社長と商品

最近ではオンデマンド印刷にUVプリントやレーザーカットを組み合わせたインパクトのある商品が

昭和22年に国民総たすけあい運動として始まった「赤い羽根共同募金運動」は、皆様のご協力に支えられ、本年度75回目を迎えます。皆様からの寄付金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように地域共生社会の実現に向けて参ります。

創業者である祖父が「人情家で正義感に溢れる江戸っ子気質」を持ち続ける会社でありたいと願い、社名に「江戸」とい言葉を入れたと聞いています。その気持ちを受け継ぎ「社会の中で人々の暮らしに役立つ出版関連に貢献し、長年培ってきた技術と新しい時代に即した技術で、出版関連のみに留まらず印刷分野などをはじめとして、関連分野のお客様とともに社会貢献の一躍を担う会社であり続ける」を経営理念として活動を営んでおりますが、弊社の事業紹介をさせていただきます。

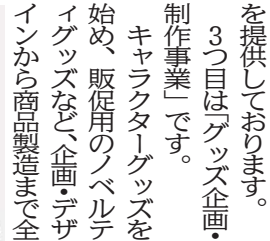
弊社は昭和3年に文京区本郷の地で「江戸写真製版所」として創業以来、お陰様で93年を迎えています。創業者である祖父が「人情家で正義感に溢れる江戸っ子気質」を持ち続ける会社でありたいと願い、社名に「江戸」とい言葉を入れたと聞いています。その気持ちを受け継ぎ「社会の中で人々の暮らしに役立つ出版関連に貢献し、長年培ってきた技術と新しい時代に即した技術で、出版関連のみに留まらず印刷分野などをはじめとして、関連分野のお客様とともに社会貢献の一躍を担う会社であり続ける」を経営理念として活動を営んでおりますが、弊社の事業紹介をさせていただきます。



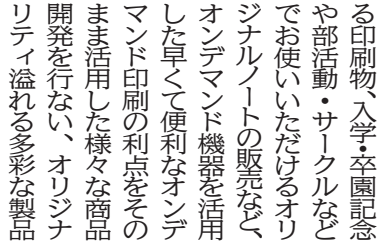
商品紹介  
最近ではオンデマンド印刷にUVプリントやレーザーカットを組み合わせたインパクトのある商品が



最新鋭のデジタル印刷機と製本機器を取り揃え、小ロット印刷製本加工への対応が可能です。チラシ・パンフレットなど多様な品目を、お客様の要望に合わせた最適なソリューションでお応えします。



2つ目は「オンデマンド印刷製本事業」です。最新鋭のデジタル印刷機と製本機器を取り揃え、小ロット印刷製本加工への対応が可能です。チラシ・パンフレットなど多様な品目を、お客様の要望に合わせた最適なソリューションでお応えします。



3つ目は「グッズ企画・制作事業」です。キャラクターグッズを始め、販促用のノベルティグッズなど、企画デザインから商品製造まで全

(一社)文京区商工協会所属  
創業：1928年9月  
資本金：2,500万円  
事業内容：DTP デザイン編集、印刷関連事業、電子書籍組版事業、インターネット通販事業他

厚く御礼申し上げますとともに引き続き、指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

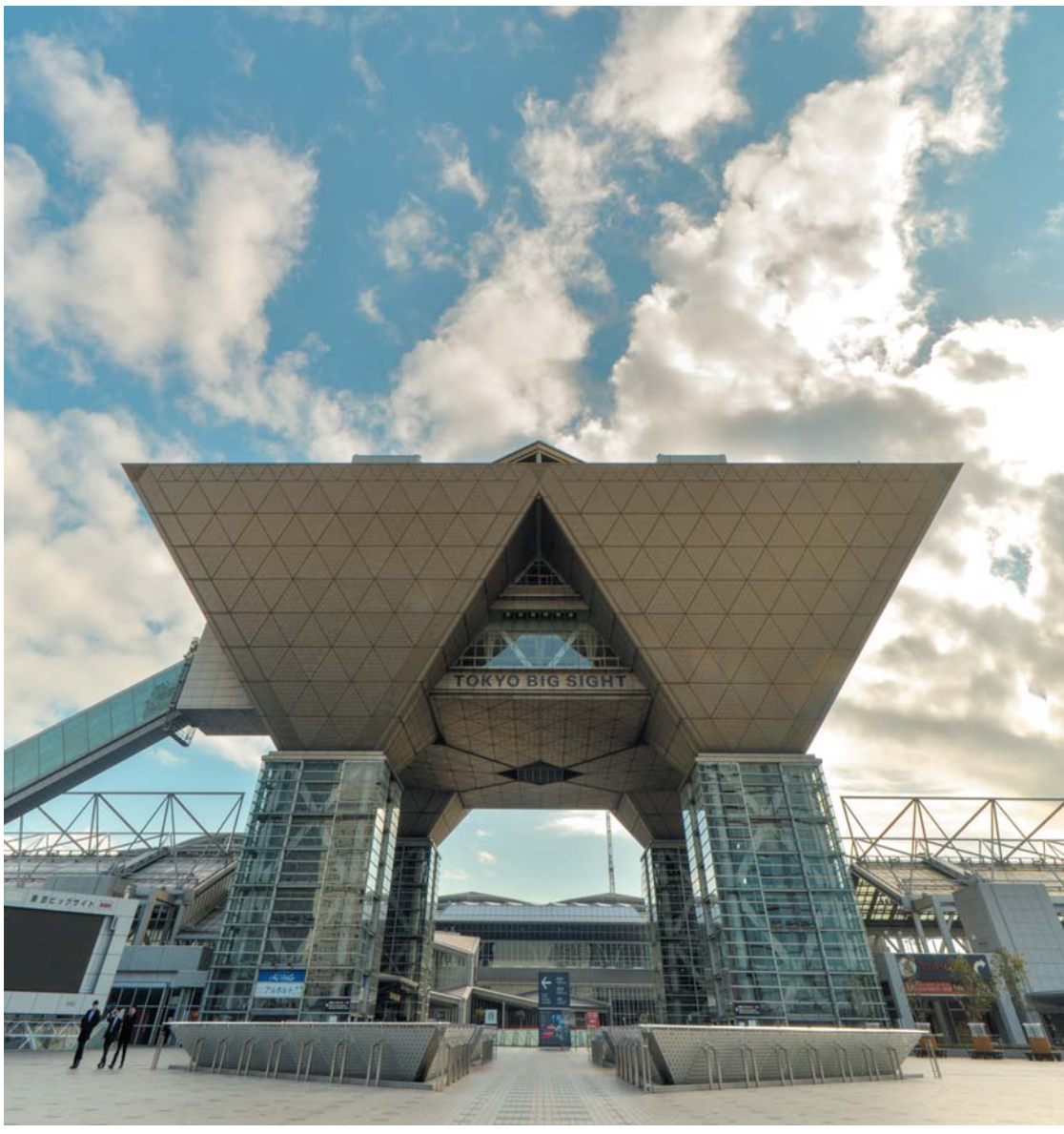
最後にになりましたが、93年という長い間、出版各社様をはじめ、多くの企業様、各組合の皆さまからの温かいご協力があったり、今日を迎えております。

ご紹介いたしました各事業にご興味を持たれた方は是非とも一報いただければ幸いです。

共同募金「つながりをたやさない社会づくり」へご協力をお願い！  
昭和22年に国民総たすけあい運動として始まった「赤い羽根共同募金運動」は、皆様のご協力に支えられ、本年度75回目を迎えます。皆様からの寄付金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように地域共生社会の実現に向けて参ります。

★在庫品寄付で社会貢献と節税★  
型落ち品、荷崩れ品などの在庫品等による物品の寄付も受け付けています。  
相応金額を全額損金としてお取り扱いが出来ますので、ご検討をお願いします。

いたします。  
※会社など法人の寄付金は、指定寄付金として、全額損金算入できます。  
社会福祉法人  
東京都共同募金会  
TEL: 03-52092  
13182



新しい未来をひらく  
「出会い」と「感動」を

株式会社東京ビッグサイト  
WWW.bigsight.jp/  
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1  
TEL: 03-5530-1111